

第2回スマートシティ海外展開に関する有識者会議 議事概要

日時:2021年5月19日(水)16:00~18:00

場所:オンライン

議事概要:

○前回議事の確認について

特段の意見・質問はなかった。

○都市調査方針案に対する主な意見

事務局から説明した、第2弾の都市提案13件の調査方針案に対し、委員からの特段の異議はなかった。

調査にあたって留意すべき事項等についての主な意見は、以下のとおり。

- データの取扱いについては、G20 スマートシティアライアンスの5原則等が定められている。そのような観点を踏まえてシステム構築等を行うことが必要。
- 前回は議論があったが、日本にとっても勉強になる案件があったときは、それを機会として活用するという視点も必要。例えば国内ではシェアバイクについて、決済システム面での課題があるが、本邦技術の可能性を検討する中で、日本企業が海外の決済システムをどう取り込めるか勉強できればよい。
- 求める仕様に関して、ベンダーロックインを助長しないよう注意する必要がある。

○企業提案調査方針案に対する主な意見

事務局から説明した、企業提案10件の調査実施方針案に対し、委員からは以下の様な指摘があった。

- 調査テーマに対して、内容を限定しすぎないように、書きぶりを工夫すべき。
- 持続可能性も重要な観点であり、それを評価項目に含んだ OECD-DAC 評価基準も参考にすべき。
- 現地の課題解決に資することはもちろん重要だが、本邦企業がどれくらい参画できそうか、それに向けて何をすべきかということも調査する必要があるのではないか。
- 企業からの提案書では、プロジェクトで見込まれる効果、どこに価値を置いて何を指すのか等の視点も重要。
- 市民の合意形成と、そのためのコミュニケーションの手法も非常に重要。